

# なめがたでキラリ輝く「ひと」

八木蒔フラワー誼(よしむ)会の皆さん、まちを良くしたいという思いで、活動しています。八木蒔地区学習センター前。



貝塚 富雄さん (77歳)

## Profile

老人クラブ「八木蒔親和会」会長。老人クラブと地区の子ども会が合同で花壇の整備等をし、世代間の交流を図っている。八木蒔在住。

「地域の子どもの顔が見えないのが寂しいと思っていて、老人クラブで何かできないかと思ったのがきっかけだよ」と優しい笑顔で話す富雄さん。

八木蒔地区の道路沿いには、季節によってマリーゴールドやアジサイ、小菊などの花が彩りよく植えられており、道行く人の目を楽しませてくれます。

この花壇を整備しているのは、「八木蒔フラワー誼(よしむ)会」の皆さん。富雄さんが会長を務める八木蒔地区の老人クラ

ブ「八木蒔親和会」と子ども会が一緒に活動する団体です。「花壇の手入れは、最初は老人クラブの会員だけでしていたんだけど、地域のみならずまちを良くしていけたら、と思っただけでも声を掛けられた。子ども会にも声を掛けられた。子どもからお年寄りまで一緒にあって花の苗を植えたり、おしゃべりしたりと、世代間の交流が図れていると思うよ」と富雄さん。「自分から動き出さないと、人に声を掛けても集まらない」という思いから、花壇への水やりなども積極的に行っています。

八木蒔地区は、約110戸で構成されており、地区に住む小学生は統合された学校にスクールバスで登下校しています。「歩いて登下校する子どもを見かけなくなると、道で会ってもどこのお孫さんか分からなくなってしまう。こうして世代間の交流をすることで、『地域の和』づくりにもなっているかな」と富雄さんは笑います。

八木蒔親和会の皆さんは、月に2回のシルバーハビリ体操のときに、交代で花壇の整備や見回りをしています。今年は特

に暑かったので、苗がしおれなにか、また、水は不足していないか、大変気をもんだそうです。現在のスクールバス停留所のある鹿島鉄道の踏切跡から線路沿いの約500メートル区間には、アジサイが植えられています。富雄さんは、アジサイが満開の時期に、地域の皆さんと縁日のようなお祭りができたら良いなと思っています。今年はバス停に、かわいらしく咲く菊も植えました。

「世代間のふれあいの機会をこれからも作っていけたら。老人クラブのみならず、子や孫の世代と一緒に活動することで励みにもなっているんだ。老人クラブ活動で『地域の和』ができると良いと思うよ。これからも、ともに歩んでいく大事な仲間たちだよ」と富雄さん。

市内には55の老人クラブがあり、それぞれが自分たちで考えた生きがいづくりを行っています。

これからも老人クラブには、元気なおじいちゃんおばあちゃんがメインとなって、さまざまな活動を展開していくことが期待されます。

## スマホで読める！ 市報なめがた デジタルブック配信開始！

○ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める  
○7言語で読める  
【日・英・中(簡体)・中(繁体)・韓・タイ・ポルトガル語】  
○音声読み上げもできる ○文字サイズを調整できる

Delivering e-book in English  
电子书籍以中文简体字发布  
電子書籍以中文繁體字發布  
한국어 전자전송중

ในระหว่างการจัดส่ง หนังสือดิจิทัล  
Entregar e-book em Português

無料 FREE APP



▲このアイコンが目印

※ブラウザ版は音声読み上げには対応していません。音声読み上げには、無料アプリ(カタボケ)のインストールが必要です。



老人クラブ「八木蒔親和会」の親睦会の様子(写真：会長提供)